

vol.
708

THE
Record

2018 november
11



| 第15回東京国際ミュージック・マーケット開催報告

| MaMA Festival & Convention 2018 視察報告



II

November

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 第15回東京国際ミュージック・マーケット
開催報告

特報

9 MaMA Festival & Convention 2018
視察報告

11 音楽ナタリー特設ページ
「Coming Next Artists」リニューアル!

12 私の一枚 season 2

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

9/18 Tuesday

MPA音楽著作権管理者 養成講座で楠本部長が講義

9月18日、東京都渋谷区のTKPガーデンシティ渋谷で開講された一般社団法人日本音楽出版社協会(MPA)主催の「2018年度音楽著作権管理者養成講座」において、当協会楠本著作権・契約部部長が「レコードと著作権」をテーマに講義を行った。



講義では、冒頭、日本のレコード産業の歴史と産業構造、国内外のレコード市場規模およびその現状について説明。続いて、メインピックである「レコードと著作権」に関して、当協会が行う指定管理団体としての業務、集中管理事業、違法な音楽配信の実態、違法対策業務(法的措置・技術的対策・刑事・民事)、著作権法上の課題等について、具体的な事例を交えながら説明を行った。また、TPPイレブン協定に基づく著作権法改正事項やそ

の施行プロセス、さらには、著作権分科会での主な検討事項など著作権制度の課題についても解説を行い、160名を超える受講生が熱心に講義に耳を傾けた。

9/22 Saturday

「ホンモノ・ニセモノ展示」開催

9月22日、東京都中央区教育センターにて、「ホンモノ・ニセモノ展示」が開催された。

この展示は、消費者の知的財産への興味と理解を深めることを目的に、中央区教育委員会の依頼を受けて公益社団法人発明協会が関係団体・企業の協力を得て行っているものである。今回は中央区で毎年9月に開催される「中央区児童生徒発明くふう展」と併催され、今年は家族連れなど150名ほどが来場した。

当協会は、音楽CD・DVDの真正品と模倣品の提供を行っており、ほかにも、ハンドバッグや衣類、時計、玩具、電子記録媒体等の真正品と模倣品・海賊版の比較展示や、模倣品対策について説明したパネルの掲示が行われ、訪れた来場者は、真正品と模倣品の見分け方や品質の違いについて、品物を手に取って興味深く比較していた。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

10/3~4 Wednesday
Thursday

IFPI幹部らが来日、 関係省庁等を訪問

10月3日から4日にかけて、IFPI(国際レコード産業連盟)のフランス・ムーアCEOとメジャーレーベル幹部らが来日し、関係省庁等を訪問してレコード産業の課題等について意見交換を行った。この度の訪日メンバーは下記のとおり。

- ・フランス・ムーア氏
(IFPI CEO)
- ・エリック・バーマン氏
(ユニバーサル・ミュージック・グループ上級副社長Public Affairs担当)
- ・サイモン・ロブソン氏
(ワーナー・ミュージック・アジア社長)
- ・KT アン氏
(IFPIアジア地域事務所代表)



上記メンバーは文化庁や知的財産戦略推進事務局、経済産業省を訪問し、現在政府審議会で検討中であるサイトブロッキングを含む違法対策や、レコードの業務上の演奏・伝達利用に係る著作権隣接権制度などの法制課題について意見交換を行った。また、9月に欧州議会を通過したEUの「デジタル単一市場における著作権指令」に関して、いわゆる「バリュー・ギャップ」の解決を目的とするユーザーアップロード型サイト事業者に係る法的責任の見直しや今後の法制化手順等についても情報提供を行い、日本における検討の開始を要望した。

また、同メンバーは当協会重村会長および副会長らともミーティングを行い、日本市場における音楽ビジネスの状況や産業を取り巻く諸課題への取り組み等について議論を行った。

10/2~6 Tuesday
Saturday

「-shin-音祭」開催

10月2日から6日にかけて、東京都新宿区の新宿区立新宿文化センターにて「新宿フィールドミュージアム2018 -shin-音祭」が開催された。

新宿のまち全体をミュージアムに例えて、区内で行われるさまざまな文化関連情報を発信する「新宿フィールドミュージアム」。同イベントは、新宿区および公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)が事務局を務める新宿フィールドミュージアム協議会主催のもと、全国屈指のライブハウス数を誇る新宿ならではの都市型音楽フェスであり、当協会は著作権啓発リーフ



レットやエルマーくんノベルティの配布で参加した。

最終日のメインプログラムでは、大ホール、小ホール、エントランスロビーの3ステージを使用し、個性豊かな約20組のアーティストによるライブパフォーマンスが終日繰り広げられた。そのほかにも、「レコーディングの仕組み」の紹介、「VRオーケストラ」等といった

様々なワークショップや、薩摩琵琶の生演奏などのミニライブ、「写真で見る新宿の街・人・文化 ~アングラ・ロック・バンク~」と題した写真展、ライブハウス連携企画も催され、訪れた人々は幅広い角度から思い思いに音楽を楽しんでいた。

10/11 Thursday

電気通信大学寄附講座にて 重村会長が講義

10月11日、東京都調布市の電気通信大学で開講された当協会寄附講座「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」において、当協会重村会長が「レコード産業の構図と現状」をテーマに講義を行った。

講義では、日本のレコード産業の歴史や、国内外の市場規模とその状況を説明。さらに、今後のレコード産業の課題や、当協会および会員社の施策について事例紹介を行った。当日は350名以上の学生が出席し、質疑応答では多くの手が挙がるなど、積極的に講義に参加する様子が見受けられた。



第15回

東京国際ミュージック・マーケット 開催報告



10月22日から24日までの3日間、「東京国際ミュージック・マーケット(15th TIMM)」が開催された。日本音楽の海外進出・文化交流を目的とした本イベントでは、音楽の街・渋谷をメイン会場に、22・23日の2日間にわたって商談会とビジネス・セミナーを実施。また、ショーケースライブを22日から24日の3日間開催したほか、23日には連携ライブ「J-Indies Night」、24日には特別企画「Music×Tech Showcase」も実施された。本特集では、国内外から多くの音楽関係者が集った本イベントをレポートする。



会場の様子



セミナールーム2

今年は、小規模会場にて海外実務担当者に向けた実践的なワークショップやプレゼンテーションも計7本実施された。

<15th TIMM 概要>

期 間：2018年10月22日(月)~24日(水)
 会 場：<商談会/ビジネス・セミナー> 渋谷エクセルホテル東急
 <ショーケースライブ> TSUTAYA O-EAST、渋谷duo MUSIC EXCHANGE
 来場者数：5,710名(マーケット、ライブ・パーティ参加者の3日間計)
 主 催：経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構、公益財団法人 ユニジャパン(TIFFCOM)、
 一般財団法人 音楽産業・文化振興財団(PROMIC)、一般社団法人 日本動画協会(TIAF)
 U R L：https://www.timm.go.jp/jp/

商談会 (出展社数38社・団体)

10月22・23日の2日間、渋谷エクセルホテル東急にて実施された。会場には、日本国内の企業・団体のみならず海外からも出展ブースが設けられ、世界15カ国以上から100名以上の海外バイヤーや音楽関係者が来場し、大いににぎわった。ここでは、当協会会員社の出展ブースを中心に紹介する。



日本コロムビア株式会社



株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント



キングレコード株式会社



株式会社テイチクエンタテインメント



日本クラウン株式会社/株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ



次世代ロック研究開発室 (SME)



株式会社ポニーキャニオン/エグジツトチューンズ株式会社



エイベックス株式会社



株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント



株式会社ドリーミュージック



ランティス/AmuseLantis Europe S.A.S.



株式会社クロア



株式会社アニュータ



JAMLab.
今年2月のローンチから8か月の「JAPAN ANIME MUSIC LAB. (JAMLAB.)」も出展。PROMICによると、海外バイヤー、問い合わせ数も順調に推移しているとのこと。

ビジネス・セミナー

10月22・23日の2日間、商談会と同フロアのセミナー会場にて開催。各分野のキーパーソンが登場し、今すぐ海外展開に役立つ音楽業界の最新トレンドについて活発な議論が展開され、バイヤー、音楽関係者から高い関心を集めた。本誌では、両日合わせて9本のセミナーが開かれた中から5つのセミナーの概要を紹介する。

海外ビジネスへの終わりなき情熱 朝妻一郎・大里洋吉

2018年10月22日(月) 15:00~16:30

スピーカー：朝妻 一郎

(株式会社フジパシフィックミュージック代表取締役会長、
一般社団法人日本音楽出版社協会顧問)

大里 洋吉

(株式会社アミューズ代表取締役会長)



日本における著作権の整備を推進するなど、著作権ビジネスの世界で大きな役割を果たしてきた朝妻一郎氏と、アミューズを一大エンターテインメント企業に育て上げた大里洋吉氏。日本の音楽ビジネスをリードしてきた両名によるキーノートが開催された。前半は朝妻氏から、1988年に米国で設立したウィンドスウェプトをインディーズながら全米5大音楽出版社に次ぐ存在に躍進させた実績など、海外事業展開における軌跡が語られた。

後半は、大里氏がサザンオールスターズや喜多郎らと挑んだ海外進出の数々や、現在の若いアーティストの海外での活躍例を紹介。また、最後にアミューズが取り組むライブ・ビューイングの可能性などについて両名が意見を交わすなど、海外を目指す音楽業界関係者にとって成功のヒントが得られる貴重な機会となった。

一般社団法人日本音楽制作者連盟 共催セミナー

中国における日本アーティストのプロモーションとライブ事情!

2018年10月23日(火) 13:30~15:00

●第一部

中国情報発信プラットフォーム

「Music Channel-J-日本音楽在线-」について

プレゼンター：山内 学

(株式会社アミューズ アジア事業部長
/株式会社アミューズ上海 董事・総経理)

●第二部

中国ライブエンターテインメント市場の現状

モデレーター：横澤 優(株式会社アソジア 代表取締役)

スピーカー：陸金 (CEO, CHARISMA TANUKI PRODUCTIONS / 上海魅狸文化传媒有限公司)

Jef Vreys (Director, New Noise China)

毛修炳 (北京道略管理諮詢有限公司 総経理)



中国におけるアーティスト稼働ビジネスの拡大を受け、ライブ・コンサート分野に精通する各氏によるプレゼンテーションが行われた。

第一部では、中国全土におけるエンターテインメント全般に携わるアミューズ上海の山内氏より、今年8月にスタートした日本音楽制作者連盟と実施する中国現地に向けた日本アーティストの情報発信プラットフォーム「Music Channel-J-日本音楽在线-」について、会員アーティストの事例紹介や、ライブへの連携など今後の展望が語られた。

第二部では、横澤氏をモデレーターに、音楽産業分析、ライブハウス運営、プロモーターといった各分野から中国でライブ市場に関わる3名が参加。ライブハウス興行数の増加、日本アーティストのブッキング基準・認知拡大などについて解説がなされた。来場者からは、日中のライブ演出の特徴や、利用されるSNSの違いなどについて質問が寄せられた。

中国コピーライトのフロントライン ー現在と今後

2018年10月22日(月) 11:30~13:00

●第一部

スピーカー： 分部悠介 (ジェットロコーディネーター/JC FORWARD 代表取締役社長・CEO、IP FORWARD法律特許事務所 代表弁護士・弁理士)

●第二部

スピーカー： Marcus Rowland (Management & A&R, Outdustry)
GONG (Writer/Producer/Artist)



2017年には初の世界TOP10入りを果たし、関連市場をあわせると6兆円の市場規模に成長するなど発展目覚ましい中国の音楽マーケット。第一部では法的な側面から日本のコンテンツを中国でコーディネートしてきた弁護士の分部悠介氏が登壇。シェアの9割を占めるデジタル配信、イベント市場、近年ブームのカラオケ市場の動向を挙げながら、著作権管理団体であるMCSC、CAVCAの徴収実例などを例に著作権管理制度の整備状況が語られた。また、当局による規制などの業界慣習が説明され、著作権ビジネスを展開する上での貴重な助言となった。第二部では中国でのアーティスト活動をサポートしてきたMarcus Rowland氏と中国人アーティストのGONG氏がクリエイター目線で音楽市場を紹介。以前の“買い取り”と違い、MCSCなどを通してアーティストを保護する著作権制度が根づいてきた現状や、SNSによって多様性のある音楽シーンが育っている活況が語られた。

海外デジタル&ソーシャル・マーケティング ー攻略へのアプローチ

2018年10月22日(月) 13:30~14:30

スピーカー： Steve Mayall
(Managing Director, Music Ally)

鈴木貴歩

(ParadeAll株式会社代表取締役、エンターテック・アクセラレーター)



音楽業界専門のコンサルティングを行うイギリスの企業Music AllyのSteve Mayall氏と、エンタテインメントとテクノロジーが融合する領域のコンサルティングを行うParadeAllの鈴木貴歩氏をスピーカーに招き、グローバルな音楽活動において必要不可欠なデジタル市場への取り組みとソーシャル・マーケティングの戦略が実例を交えて紹介された。鈴木氏からはSNSを使ったデジタルプロモーションが直接的な売上ににつながる事例や、そこで得たデータの分析をマネタイズ化につなげる重要性が語られた。またSteve Mayall氏はプロモーションを手掛けるヴァーチャル音楽集団Gorillazによるインスタグラムなどの活用例の他、3D空間写真共有アプリFyuseなど最新のSNSを用いてユーザーとつながることで知名度を上げたアーティストの成功例を紹介。広告費が少なくともSNSを活用することでブレイクにつながる道筋を提示した。来場者は新時代のマーケティングスキルの在り方に関心深く耳を傾けていた。

「音楽とAIの現在地」 ーそこから広がる音楽と地平ー

10月22日(月) 17:00~18:00

モデレーター： 山口哲一 (音楽プロデューサー/エンターテック・エバンジェリスト)

スピーカー： 浅田祐介 (音楽家・anything goes代表取締役)
小向国靖 (株式会社J-WAVE デジタル開発部長)
今林広樹 (EAGLYS 株式会社 代表取締役CEO)



AI時代の音楽制作と音楽ビジネスの可能性などについて、音楽とテクノロジーに通じた4名によってディスカッションが行われた。モデレーターは音楽プロデューサーの山口哲一氏。浅田氏からは、CMソングのようなセグメントされた楽曲制作にAIが向いている点や、新しい音楽表現、ノウハウのデータ化と蓄積など、AIの活用によって期待できる利点と、著作権概念の再構築の必要性などの今後の課題が語られた。小向氏からはIBMと共同で開発している業界初の人工知能アーティスト「AI Tommy」が紹介され、今後の展望についても語られた。今林氏からは、AIの普及とともに懸念されるセキュリティ面での問題解決への取り組みが紹介され、今後音楽関係者がAIに対して持つべき意識について様々な示唆を与えられる場となった。また24日には、東京都渋谷区の「Contact」で開催された音楽とテクノロジーをテーマとした特別企画「Music×Tech Showcase」にて、AI Tommyによる貴重なパフォーマンスが披露され、来場者の注目を集めていた。



ショーケースライブ

TSUTAYA O-EAST(10月22日から24日までの3日間)、渋谷duo MUSIC EXCHANGE(10月22日のみ)では、国内外から全30組のアーティストが出演するショーケースライブが開催され、会場に駆け付けた国内ファン、海外バイヤーに向けて熱気あふれるパフォーマンスが繰り上げられた。

10月22日(月)at TSUTAYA O-EAST



MOTOR HOTEL



Joanna Wang(台湾)



SUPER☆DRAGON



祭nine.



ナノ



岩佐美咲



嘘とカメレオン

10月22日(月)at 渋谷duo MUSIC EXCHANGE



Colorpointe



Chuning Candy



わーすた



篠崎りさ



ゆくしれずつれづれ



まねきケチャ

10月23日(火) at TSUTAYA O-EAST



10月24日(水) at TSUTAYA O-EAST



MaMA Festival & Convention 2018 視察報告



10月17日～19日の3日間、フランス・パリで「MaMA Festival & Convention 2018」が開催された。MaMAは、Festival（ライブ）と、Convention（講演・商談会）で構成され、第1回の2010年以降プログラム内容を進化させながら、近年では毎年約1万人の国内外の音楽関係者とライブ来場者が集う世界有数の音楽イベントとして存在感を高めてきた。

第9回目を迎えたMaMA Festival & Convention 2018は、パリのモンマルトルおよびピガール地区の15会場において、3日間で150の基調講演・パネルディスカッション・ワークショップと、120のライブが展開された。フランスを中心にイギリス、ドイツなどヨーロッパ各地に加え、アメリカ、南米のブラジルやチリからも52か国5,925名の音楽関係者が参加し、5,522名の一般客がライブに興じ（速報値）、昨年の実績を上回る賑わいとなった。参加者はマネージメント系および音楽出版、イベント・フェス関連、レーベル、配信系、録音・音響技術と多岐にわたっており、初日の入場バス引き換えには長蛇の列ができていた。パリの歌舞伎町とも称されるピガール地区は雑多な歓楽街である一方、ライブハウスやクラブ、劇場、楽器店が連なり、これらを含めスタンドグラスが美しいチャペルや蓄音機ギャラリー等個性的な場所が各会場として使用されていた。JAPAN STANDが設置されたメイン会場Le Trianonも元映画館であり、階段隅に古い映写機が佇む趣のある建物であった。モンマルトルへの観光客も多く行き交う会場一帯で、MaMAのポスターや旗を期間中至る所で見ることができた。

Convention

150にもおよぶコンベンションは、映画「グラン・ブルー」の音楽を手掛けたエリック・セラによる基調講演『A FOCUS ON A UNIQUE CREATIVE LIFE』を始め、『フランスのソフトパワーと文化外交』『ラジオプロモーション』『ブロックチェーン対応ストリーミングサービス』『BREXIT(英のEU離脱)が欧州の音楽業界で意味するもの』『フェスにおけるキャッシュレスシステム』など、トレンドに沿ったテーマで開催され、多種多様な分野のプロフェッショナルが一堂に集結していた。オフィシャルサイトでは、これらの講演がアーカイブとしてPodcastで公開されている。

Festival

120のライブ出演者は約半数がフランスで、残りはイギリス、オランダ、ベルギー等ヨーロッパ圏が多いものの、カナダ、アメリカ、ブラジル、日本、中国、北欧等様々な地域からの参加が見られた。オフィシャルサイトではプロフィールやSNSに加え、SoundCloudやDEEZERなどのプレイリスト音源も公開している。

ライブチケットは18～55ユーロで一般の音楽ファンも購入可能。開演時間は21:00～22:30開始が中心と、かなり遅い時間であったが集客に影響はなく、パリのナイトライフの充実度が垣間見えた。

▼コンベンションアーカイブ

<https://live.mamafestival.com/user/event/replay>

▼フェスティバルプレイリスト

<https://play.soundgood.co/playlist/mama-festival-2018-2>

▼AFTERMOVIE MaMA Festival 2018

https://www.youtube.com/watch?v=_mpxLvSYqjk





MaMA実績

	Conference	Festival	参加国	参加登録者数	ライブ観客数
2017	120	180	52	5,620	4,713
2018	150	120	52	5,925	5,522



Welcome to JAPAN ~This is our first MaMA!

一般社団法人日本音楽出版社協会 (MPA) と独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) は、「2018 JAPAN at MaMA」と称した JAPAN STAND を初開設し、「カンファレンス (Welcome to JAPAN)」 「商談会」 「日本アーティストライブ (lo-fi discotheque、The fin.)」 「ネットワーキングパーティー」 を催した (当協会も協賛参加)。MaMA2018 のパンフレット冒頭で紹介されるなど注目を

受け、多くの国々の音楽関係者との交流がはかれていた。

北斎、写楽の「ジャポニズム」が浸透するなどフランスと日本は古くから文化交流がなされ、現代もアニメ・漫画人気など、日本文化を受け入れる土壌が根付くフランス。2018 年は「日仏交流 160 周年」の特別な年であるが、JAPAN STAND 初開催の年として、世界に門戸を広げた節目の年になることを期待する。



Focus Japan at MaMA 2018

1. メイン会場 Le Trianon に設置された JAPAN STAND
2. MPA と仏音楽出版社団体 CSDEM のミーティング。「EU 著作権指令 13 条」の影響などについて情報交換
3. 10/18 森川進 MPA 理事、見上チャールズ・裕 MPA 理事によるカンファレンス「Welcome to JAPAN」。日本の音楽市場を統計データを基に紹介
4. 5. 10/18 lo-fi discotheque LIVE (@Le Carmen) 今回が海外初ライブの 2 人は「海外からの逆輸入で日本でも聴いてほしい」と意欲的。前日リリースの「funny39」を中心にドラム、バイオリン、キーボード等を操るオリジナリティ溢れたサウンドで観客を魅了した。ライブ後にはとあるフェスから出演依頼が入ったとの朗報が!
6. 8. 10/19 ネットワーキング (@Bar à Bulles) 仏、英、独、米等多数の音楽関係者が集い「SAKE PARTY」で意見交換。日本酒、おにぎり、「国虎屋のうどん」でオモテナシ
7. ネットワーキングにて右から桑波田景信 MPA 会長、Fernando Ladeiro Marquès MaMA デイレクター、重村博文 RIAJ 会長
9. 10. 10/19 The fin. LIVE (@La Boule Noire) ロンドンを拠点にアメリカやアジア等海外ツアーも精力的にこなすグローバルな活動スタイルの The fin.。幻想的かつノスタルジックな浮遊感漂うメロデーに英語詞が乗り、会場は心地良い空間に。22:30 開始と遅い時間にも関わらず多くの観客が詰めかけた。今回のライブ出演については、海外展開を見据える複数の日本アーティストがエントリーした結果、MaMA 事務局により lo-fi discotheque と The fin. の 2 組が選出された。

音楽ナタリー特設ページ 「Coming Next Artists」リニューアル!

当協会は、2017年7月より約1年間、音楽ニュースサイト「音楽ナタリー」とタッグを組み、会員レコード会社の新人アーティストを紹介する特集ページ「Coming Next Artists」にてネクストブレイクアーティストの記事を掲載してきたが、この度、2年目を迎えた同施策がさらに幅広い情報をリスナーに発信するべくリニューアルしてスタートした。ここでは、対談を担当するキュレーターと、新たな企画についてレポートする。

▶ <https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists02>



Coming Next Artists キュレーター対談

第一線で活躍しているプロデューサーやアーティストを“キュレーター”として起用。それぞれのキュレーターが選んだ“会いたい新人アーティスト”と対談を行う企画を発信予定。対談の中で新人アーティストのパーソナリティを掘り下げ、その魅力を伝える。

<キュレータープロフィール>



金澤ダイスケ(フジファブリック)

フジファブリックのキーボード担当。バンドは2004年のデビュー以降「銀河」「茜色の夕日」「若者のすべて」などヒット曲を生み出すが、2009年にメンバーの志村正彦が急逝し、2011年夏より金澤、山内総一郎(Vo、G)、加藤慎一(Ba)の新体制で再始動した。金澤はバンド内で作詞や作曲も担当しているほか、2010年から2011年にかけてはASIAN KUNG-FU GENERATIONのロングツアーにサポートメンバーとして参加した。フジファブリックは2019年1月23日にニューアルバム「F」をリリースし、3月から4月にかけて全国ツアーを行う予定。さらに同年10月20日にデビュー15周年を記念して大阪・大阪城ホール公演を開催する。



藤井隆

1972年3月10日生まれ。1992年に吉本新喜劇オーディションを経て、お笑い芸人として吉本興業入り。2000年にシングル「ナンタカンダ」で歌手デビューし、同年「NHK紅白歌合戦」に初出場を果たす。2015年6月におよそ11年ぶりとなるオリジナルアルバム「Coffee Bar Cowboy」を自身のレーベル「SLENDERIE RECORD」から発表。2017年9月には2年3か月ぶりのオリジナルアルバム「light showers」をリリースした。自身のアーティスト活動のみならず、早見優、レイザーラモンRG、椿鬼奴といった面々の音楽作品のプロデュースも行っている。



沙田瑞紀(ねごと)

4人組ロックバンド・ねごとのギタリスト。高校2年生だった2007年にねごとを結成し、翌年開催された「閃光ライオット2008」で審査員特別賞を受賞した。2010年9月に1stミニアルバム「Hello! "Z"」でメジャーデビュー。2011年3月発表の1stシングル「カロン」がau「LISMO!」のCMソングとしてオンエアされ幅広い層から注目を集めた。2016年11月に中野雅之(BOOM BOOM SATELLITES)と益子樹(ROVO)をプロデューサーに迎えたCD「アシンメトリ e.p.」を、2017年には4thアルバム「ETERNALBEAT」、5thアルバム「SOAK」と2枚のアルバムをリリース。2018年2月から4月にかけて、最新アルバムを携えたワンマンツアー「SOAK」を開催した。



mabanua

バンド・Ovallのドラマーをはじめ、プロデューサー、シンガーとしても活躍するアーティスト。Ovallの活動と並行して2008年にソロ活動をスタートし、11月に初のソロアルバム「done already」をリリースした。またChara、Gotch (ASIAN KUNG-FU GENERATION)、矢野顕子、くるり、RHYMESTER、米津玄師、藤原さくら、Negiccoなどのプロデューサー、ドラマー、リミキサーを担うほか、CM楽曲や映画、ドラマ、アニメの劇伴も多数担当。2018年にはテレビアニメ「メガロボックス」の劇伴を手がけた。同年8月には前作から約6年ぶりとなるアルバム「Blurred」を発表。今作のリリースを記念したツアーも予定されている。

ディスクレビュー

新人アーティストを中心としたディスクレビュー企画。試聴音源やミュージックビデオを交えながら、アーティストとの親和性の高い著名人によるレビューで作品の魅力を紹介する。



第1回目は、下北沢モナレコード元店長で、現在タワーレコードのレーベル事業本部にて部長を務める行達也氏がレビューを担当。日本クラウンより11月7日に発売される吉澤嘉代子のアルバム「女優姉妹」を取り上げる。

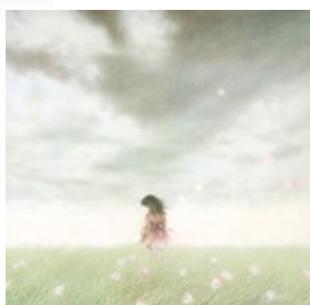


私わたし の season2 一枚いちまい



萩野 伸之

一般社団法人日本レコード協会 理事
(株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ 代表取締役社長)



「風見鶏」
さだまさし

1977年、中学1年生のとき、洋楽ではKISSの4人が頻繁にミュージック・ライフの表紙を飾り、邦楽ではまさにニューミュージック興隆の頃。ほぼ同時期に買ったアルバムがLED ZEPPELIN「永遠の詩(狂熱のライブ)」、さだまさし「風見鶏」とある意味両極端な2枚でした。

当時は、まだロック・ミュージックに対する世間の風当たりが強く、特に高校教師であった私の父の軽音楽部(の大音量)に対するアレルギーは相当なもの。エレキ・ギターの購入は許されませんでした。粘った末にようやく手にしたのはフォーク・ギター(当時はアコギとはいっていませんでした)。結果的に毎日、さださんの曲を練習することになりました。

といった流れで、私の一枚は、さだまさし「風見鶏」です。

1977年7月に発売されたこのアルバムは、シングル「雨やどり」の後にリリースされ大ヒットしたニューミュージック興隆期の名盤と呼ぶに相応しい一枚です。

収録曲に細かく触れるスペースはありませんが、菅原道真の飛梅伝説から題材を取った「飛梅」など蘊蓄をももった歌詞や、瑞々しいハイ・トーン・ヴォイス、渡辺俊幸さんや国内トップのミュージシャンの方々に支えられたポップなサウンドに中学生の私は魅了されました。アルバムの楽譜集も手に入れ、部活(剣道)、食事、寝る以外のすべての時間を投入して曲順でコピー(真似)。そのうちに自宅の前をレコード会社の人が通りがかり自分の歌声に気付いてくれるかもしれないという妄想に取り付かれ、さらに日々是練習。中学3年生の時には、4リズムのさだまさしコピー・バンドを結成し文化祭の体育館ステージへと立ったのでした。

その後、様々な音楽変遷はあれど、現在の自分に繋がる40年前の自分を魅了したこの一枚。寄稿にあたりあらためて聴き直した際に、自室の床の間にさださんのアルバム購入特典ポスターを飾っていたことをホックリと思い出しました。

Monthly Production Report 2018年9月度レコード生産実績



9月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比117%の1,352万枚・巻、金額で同116%の165億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比115%の1,074万枚・巻、金額で同116%の127億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比125%の278万枚・巻、金額で同115%の38億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		9月実績						2018年1月~2018年9月 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
8cmCD シングル	邦	4	0	73%	2	0	75%	34	0	129%	73	0	414%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	4	0	73%	2	0	75%	34	0	118%	73	0	391%
12cmCD シングル	邦	4,028	38	213%	3,239	26	198%	36,718	36	101%	29,701	25	102%
	洋	2	0	10%	2	0	9%	31	0	13%	30	0	13%
	計	4,030	38	211%	3,240	26	196%	36,748	36	101%	29,730	25	101%
シングル 計	邦	4,032	38	212%	3,241	26	198%	36,751	36	101%	29,773	25	102%
	洋	2	0	10%	2	0	9%	31	0	13%	30	0	13%
	計	4,034	38	210%	3,243	26	196%	36,782	36	101%	29,803	26	101%
12cmCD アルバム	邦	5,438	51	96%	7,986	63	107%	54,034	53	95%	73,580	63	97%
	洋	1,097	10	70%	1,179	9	75%	10,522	10	87%	11,173	10	93%
	計	6,535	61	90%	9,165	72	101%	64,556	63	94%	84,754	73	96%
CD計	邦	9,469	88	125%	11,227	88	123%	90,785	88	98%	103,353	88	98%
	洋	1,099	10	70%	1,180	9	74%	10,553	10	85%	11,203	10	91%
	計	10,569	98	115%	12,408	98	116%	101,338	99	96%	114,557	98	98%
アナログ ディスク	邦	30	0	94%	59	0	110%	352	0	88%	693	1	102%
	洋	57	1	147%	116	1	191%	385	0	131%	696	1	135%
	計	87	1	123%	174	1	153%	737	1	106%	1,389	1	116%
カセット テープ	邦	38	0	81%	33	0	81%	361	0	84%	305	0	82%
	洋	0	0	179%	0	0	255%	2	0	45%	3	0	58%
	計	38	0	82%	34	0	81%	363	0	83%	308	0	82%
その他	邦	12	0	149%	20	0	164%	88	0	87%	148	0	92%
	洋	30	0	83%	57	0	79%	218	0	109%	441	0	113%
	計	43	0	95%	77	1	92%	306	0	102%	589	1	107%
合計	邦	9,549	89	124%	11,340	89	123%	91,587	89	97%	104,499	89	98%
	洋	1,187	11	72%	1,353	11	78%	11,158	11	87%	12,342	11	94%
	計	10,736	100	115%	12,693	100	116%	102,745	100	96%	116,841	100	98%

音楽ビデオ

		9月実績						2018年1月~2018年9月 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	2,045	74	123%	2,070	55	117%	32,328	75	119%	35,088	56	133%
	洋	86	3	107%	68	2	55%	322	1	67%	354	1	45%
	計	2,131	77	123%	2,137	56	113%	32,650	75	118%	35,442	57	130%
ブルーレイ ディスク	邦	638	23	141%	1,600	42	126%	10,487	24	180%	26,833	43	175%
	洋	13	0	36%	59	2	39%	138	0	83%	257	0	49%
	計	651	23	134%	1,659	44	117%	10,625	25	177%	27,090	43	171%
テープ・その他	邦	0	0	0%	0	0	0%	0	0	29%	1	0	28%
	洋	2,683	96	127%	3,670	97	121%	42,816	99	130%	61,922	99	148%
	計	98	4	85%	127	3	46%	460	1	71%	611	1	47%
合計	邦	2,781	100	125%	3,797	100	115%	43,276	100	129%	62,533	100	145%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		9月実績						2018年1月~2018年9月 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		10,736	79	115%	12,693	77	116%	102,745	70	96%	116,841	65	98%
音楽ビデオ計		2,781	21	125%	3,797	23	115%	43,276	30	129%	62,533	35	145%
合計	邦	12,232	90	125%	15,010	91	123%	134,403	92	106%	166,421	93	112%
	洋	1,285	10	73%	1,480	9	74%	11,618	8	86%	12,954	7	89%
	計	13,517	100	117%	16,490	100	116%	146,021	100	104%	179,374	100	110%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

		9月実績						2018年1月~2018年9月 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		4,939	76	99%	5,125	54	84%	56,079	74	100%	61,150	53	101%
ブルーレイディスク		1,554	24	74%	4,289	46	70%	19,360	26	114%	54,409	47	107%
テープ・その他		0	0	0%	0	0	0%	0	0	32%	1	0	31%
合計		6,493	100	92%	9,414	100	77%	75,439	100	103%	115,560	100	104%

オーディオ/ビデオレコード合計

		9月実績						2018年1月~2018年9月 累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		10,736	62	115%	12,693	57	116%	102,745	58	96%	116,841	50	98%
ビデオレコード計		6,493	38	92%	9,414	43	77%	75,439	42	103%	115,560	50	104%
合計		17,230	100	105%	22,107	100	95%	178,184	100	99%	232,401	100	101%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

ミリオン	センチメンタルトレイン	AKB48	2018.09.19	キングレコード
プラチナ	ここに	関ジャニ∞	2018.09.05	ジェイ・ストーム(インフィニティ・レコーズ)
	「生きる」	NEWS	2018.09.12	ジャニーズ・エンタテインメント
ゴールド	Sunny Side	SHINee	2018.08.01	ユニバーサル ミュージック
	プロポーズ	純烈	2018.02.14	日本クラウン
	U.S.A.	DA PUMP	2018.06.06	エイベックス・エンタテインメント
	YEAH YEAH YEAH/ 憧れのStress-free/花、蘭の時	ハロプロ・オールスターズ	2018.09.26	アップフロントワークス(ゼティマ)
	勝負の花道	氷川 きよし	2018.01.30	日本コロムビア
	炎・天下奪取	BOYS AND MEN	2018.09.12	ユニバーサル ミュージック
	LIVIN' IT UP	MONSTA X	2018.09.12	ユニバーサル ミュージック

アルバム | 邦楽

プラチナ	BDZ	TWICE	2018.09.12	ワーナーミュージック・ジャパン
ゴールド	イザナワレトラペラー	After the Rain	2018.09.05	NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン
	TOMORROW	東方神起	2018.09.19	エイベックス・エンタテインメント
	LOVE YOURSELF 結 'Answer'	BTS (防弾少年団)	2018.08.24	ユニバーサル ミュージック

ビデオ | 邦楽

ゴールド	櫛共和国2017	櫛坂46	2018.09.26	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	真夏の全国ツアー2017 FINAL! IN TOKYO DOME	乃木坂46	2018.07.11	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

プラチナ	Family Song	星野 源	2017.08.16	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	アイデア	星野 源	2018.08.20	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
ゴールド	Dear Diary	安室 奈美恵	2016.11.23	エイベックス・エンタテインメント
	もし君を許せたら	家入 レオ	2018.08.01	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	POP TEAM EPIC	上坂 すみれ	2018.01.31	キングレコード
	夜空ノムコウ	スガ シカオ	2007.02.08	ユニバーサル ミュージック
	ふでペン ~ボールペン~	放課後ティータイム	2009.07.22	ポニーキャニオン
	(RE)PLAY	三浦 大知	2016.11.02	エイベックス・エンタテインメント
	Wanted! Wanted!	Mrs. GREEN APPLE	2017.08.08	ユニバーサル ミュージック
	MOON PRIDE	ももいろクローバーZ	2014.07.30	キングレコード
	ヒューマン	WANIMA	2017.10.26	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

今号は15回目のTIMMを特集しました。誌面では全9本のビジネス・セミナーから5本をレポートしましたが、他にも多岐にわたるテーマで実施され、来場者から好評を博しておりました。中でも異彩を放っていたのが2日目午前の「海外ライティング実況中継」です。恥ずかしながら“コライト”という言葉を知ったのがテレビ朝日系列「music るTV」で「専門学生対抗コライトバトル」のコーナーが始まってからで、それまでは作詞/作曲者名が連名であっても、バンドのメンバーがコードとメロディーを分担して制作している、またはアーティストが作った曲を音楽作家がブラッシュアップしている…、程度に捉えていました。参加メンバー同士刺激を受けつつ効率よく制作を進めていると感じた一方、90分(実質60分弱だったように思います)という限られた時間内での完成に向け、主軸となる作曲家を中心とした凝縮されたコミュニケーションの展開を間近で見ることができ、とても貴重な機会になりました。(M)

THE RECORD No.708 2018年11月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2018年11月15日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<http://www.riaj.or.jp>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンスル



エルマークキャラクター
エルマーくん